

平成19年11月16日

## 国際電気通信連合 (ITU) 2007年世界無線通信会議 (WRC-07) の結果

国際電気通信連合 (ITU) の2007年世界無線通信会議 (WRC-07) が、10月22日 (月) から11月16日 (金) までの4週間、ジュネーブ (スイス) で開催されました。同会議には164か国、約2800名が参加しました。我が国からは総務省、電気通信事業者、放送事業者等を含め約80名の代表団を構成し、参加しました。主要議題の審議結果は、以下のとおりです。

### 1 IMT (第3世代及び第4世代移動通信システム) への将来の周波数確保

- IMT (第3世代及び第4世代移動通信システム) に使用する新たな周波数の確保を検討する議題

#### 【結果】

- 以下、1)~4) の計428MHz幅が確保された。(※現在我が国で携帯電話に割当済の帯域幅は333MHz)
  - 1) 3.4-3.6GHz 200MHz
  - 2) 2.3-2.4GHz 100MHz
  - 3) 698-806MHz 108MHz
  - 4) 450-470MHz 20MHz
- 上記のうち、各国が使用したい周波数で今後IMTを実現
- 我が国としては、1)と3)を中心に利用を推進する考え(但し、3)はその一部)。

(参考)

- 2010年以降の実現が期待される第4世代移動通信システム用に3.4GHz帯が利用可能になったことは、我が国の第4世代移動通信システムの実現に確固たる足場を築くもの
- 本会議において世界で100カ国以上の国が、3.4GHz帯を移動通信システムに使用することを表明
- 今後、ITUにおいて国際的な標準化活動が本格化する見込み
  - ※ 第4世代移動通信システムの標準化を行うITUの研究委員会(SG5)の議長に、先般、橋本明氏(NTTドコモ)が就任
- 国内的にも標準化活動を強化
  - ※ 我が国の国際競争力の強化のため、標準化等の推進方策を情報通信審議会で審議中
- 将来の実用化に向けてメーカーの機器開発投資が促進される見込み
- 光ファイバ並みの映像配信が可能となることから、今後新しいコンテンツの創造にも期待がかかる

### 2 2.5GHz帯について衛星通信と地上の移動通信のどちらを優先するか

- 世界的に地上の移動通信の需要が高まっている中で、我が国を含む数か国では、衛星を利用した携帯電話等で使用しているため、衛星の利用を制限するかどうかについて検討する議題

#### 【結果】

- 世界的には地上の移動通信を優先し、衛星が出す電力を厳しく制限することとなったが、我が国の衛星(N-STAR)は非常災害時の移動通信に使用されていることから、例外的な扱いとすることが決定された。

### 3 地球探査衛星のために携帯電話等の電波を抑えることの是非

- 今後運用が予定される地球探査衛星を地上での使用電波から保護するため、携帯電話等の電力を抑えるかどうかを検討する議題

#### 【結果】

- 1.4GHz帯(我が国では携帯電話に使用):  
厳しい電力制限値を強制しようとする動きがあったが、強制力のない推奨値とすることが決定された。
- 10.6GHz帯(我が国では放送中継用無線局に使用):  
同上

#### 4 航空管制用の周波数の確保

- 航空管制、航空用データ通信等に使用する周波数の確保を検討する議題

##### 【結果】

- 我が国が提案していたVHF帯(112-117.975MHz)及び5091-5150MHz帯を世界共通で利用することが決定された。
- なお、我が国が準天頂衛星で使用予定の5000-5030MHz帯についても航空用データ通信への分配が検討されたが、結局、対象外とすることが決定された。

#### 5 短波ラジオへの周波数確保の是非の検討

- 短波帯の周波数分配を見直し、短波ラジオ用に新たな周波数を確保するか否かを検討する議題

##### 【結果】

- 追加分配しないことが決定された。

#### 6 次回の世界無線通信会議の議題

- 2011年に予定されている次回世界無線通信会議(WRC-11)の議題を検討する議題

##### 【結果】

- 我が国が提案した以下の次回会合(WRC-11)議題4件が全て採択された。
  - 1) 衛星望遠鏡で観測したデータを地上に転送するための周波数をいかに保護するかを検討する議題  
(JAXA)【37-38GHz】
  - 2) 海水面の流速、流向を観測するための短波海洋レーダ用周波数の確保を検討する議題  
(国土交通省港湾局)【3-50MHzの一部】
  - 3) 衛星を用いた航空管制用通信を優先扱いする方法について検討する議題  
(国土交通省航空局)【1.6GHz帯】
  - 4) 国際宇宙ステーションに搭載される地球探査用センサーや日・米・加・欧共同の電波天文観測計画のための周波数利用を検討する議題  
(JAXA・国立天文台)【275-3000GHz】

※( )内は関係機関、【 】内は対象周波数帯を示す

##### 関連報道資料:

- ITU世界無線通信会議(WRC-07)の開催(平成19年10月19日)  
[http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/071019\\_4.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/071019_4.html)

##### 連絡先 : WRC-07について

総合通信基盤局電波部国際周波数政策室  
(担当 : 永田課長補佐、中川国際政策係長)  
電話 : 03-5253-5878  
FAX : 03-5253-5883

##### ITU全般について

総合通信基盤局国際部国際機関室  
(担当 : 齋田課長補佐、宮良標準化係長)  
電話 : 03-5253-5922  
FAX : 03-5253-5925

戻る